



へ
弁天の

こ
池に始まる

め
目久尻川

目久尻川

目久尻川は、市内の東側台地を流れています。この源は小池地域で、かつては小さな池があり、その池から湧き出る清水は絶えることがなく、流域の人々の生活用水であり農耕の用水となりました。この恩恵に感謝した村人たちが、池のほとりに小社を建て水の神さまである弁財天をまつりました。

昔は、目久尻川の水の恵みに浴している寒川町からも代参（村の代表）がお参りに来しました。

現在では、この池は埋められてしまいましたが、弁財天社はりっぱになり、三月三日を例祭としています。

